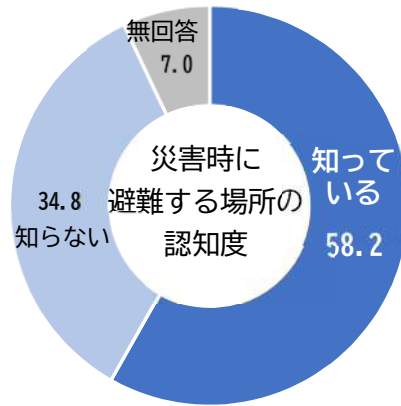
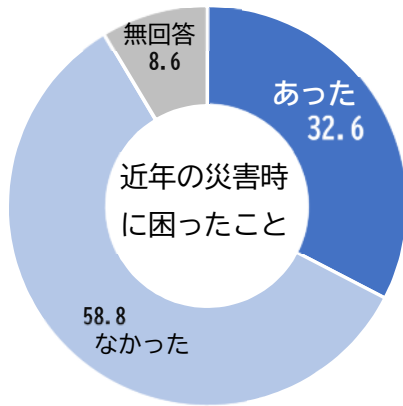


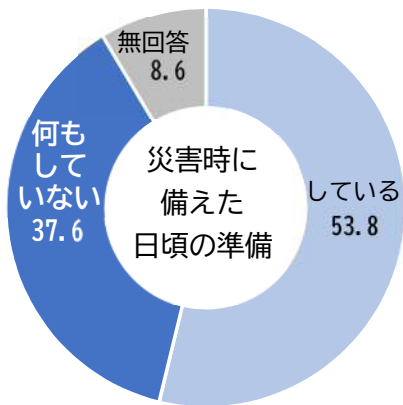
● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

近年、自然災害が多く、災害時の避難場所の認知度は約6割



災害に備えた準備をしていない人が約4割



災害時に備えて日頃から心がけている・準備していること（上位3項目）

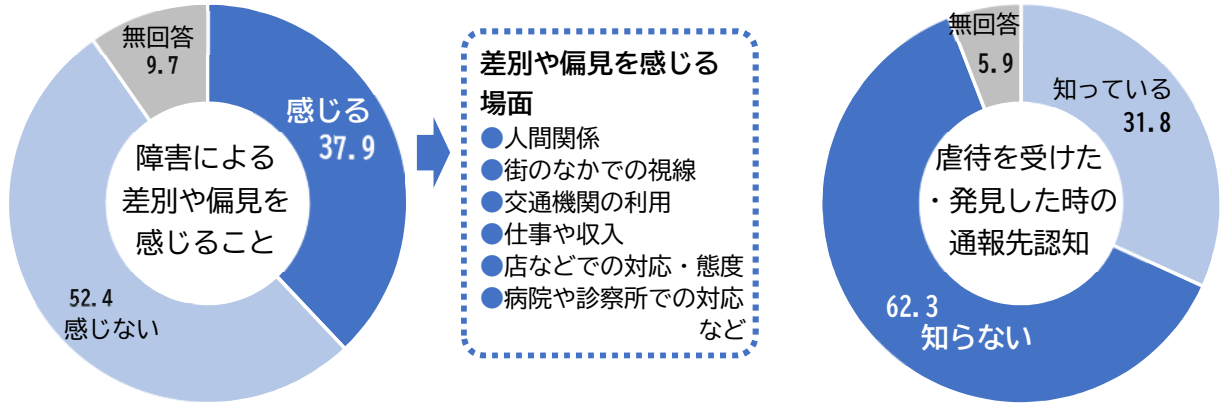
- 震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人などの連絡先を把握している
- 災害時に避難する避難場所までの移動ルート・方法などを確認している
- 震災時の非常持出品等の中に、障害特性に応じた医薬品や食料等を用意している

テーマ別部会等の意見より

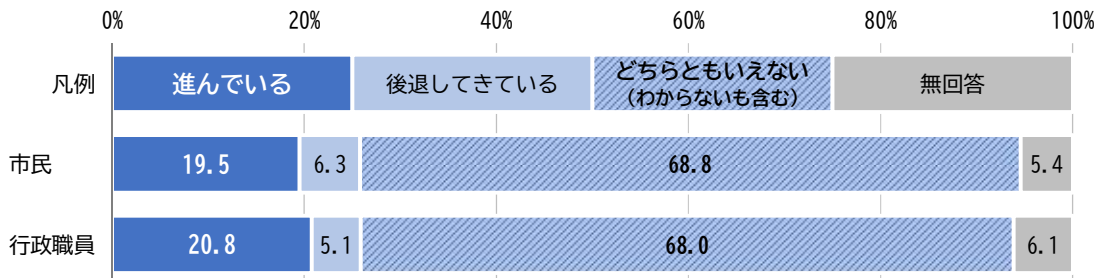
● 市民の声 ●

アンケート調査結果より

障害による差別や偏見を感じている人が約4割、虐待の通報先を知らない人が6割以上



《障害に対する市民・行政職員の理解の浸透に対する評価》



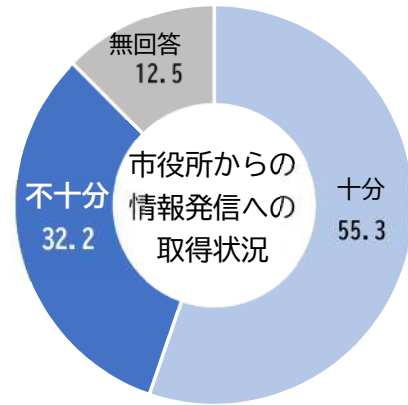
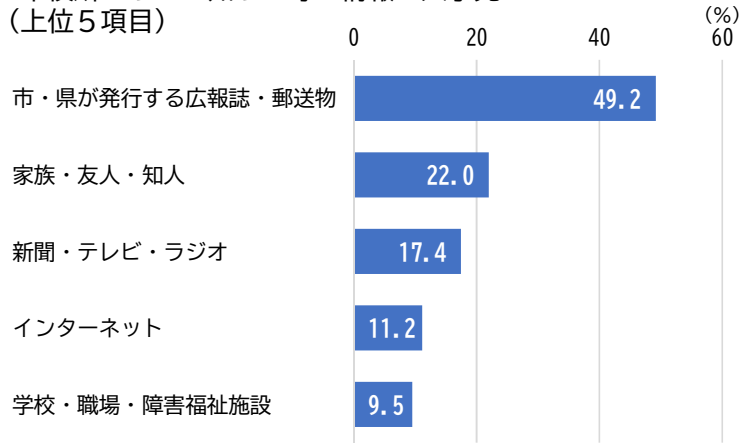
テーマ別部会等の意見より

● 市民の声 ●

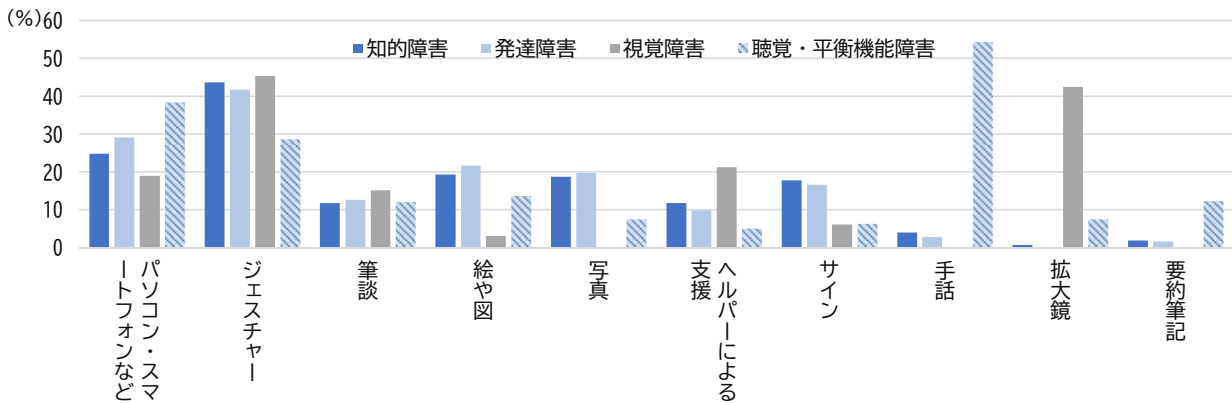
アンケート調査結果より

障害種別でコミュニケーション手段・手法が大きく違うため、特性に応じた情報発信・支援が必要

《市役所からののお知らせ等の情報の入手先》
(上位5項目)



《会話やコミュニケーションを図る際に用いる手段・手法》



個別調査（障害者団体アンケート）結果より

情報の入手にかかる困りごとは●●が約■割、必要な支援や効果的な手法は◎◎が半数以上

テーマ別部会等の意見より